

申請団体及び申請事業一覧

18年度実施分

事業名称・概要			事業概要の追加：事務局にて作成（事業計画より抜粋）
団体名			
1 蘭の會	〈高齢者のための声の体操事業〉 高齢者の健康維持・介護予防を目指し、心の元気・身体の元気でいつまでも生き生きと過ごして頂く為に、誰でもどこでも簡単にできる「感声トレーニング」を東中沢町会を中心に3ヶ月間実施します。		10～12月：「感声トレーニング」の訓練を月2回開催する。 1月：「大声大会（仮称）」を開催する。 2月：訓練方法を解説した小冊子をまとめ参加者に配布する。
2 特定非営利法人 かまがや地域情報の窓	〈これから定年を迎える団塊の世代の活動支援WE Bサイト事業〉 これから定年を迎える団塊の世代の人々が地元で活躍する、ボランティア活動とかコミュニティビジネスを始めるための情報交換や情報提供する場を整備し提供するため、団塊の世代向けWE Bサイトを立ち上げる。 また、このWE Bサイトを、掲示板によるネットワークコミュニティの場として、そこを訪れた人たちがお話しをする感じで掲示板に書き込み、興味のある事項について、“この指止まれ”的感じで掲示板を活用し地域での活動を進めていただく。 WE Bサイトの運営・管理は、団塊の世代が参画し、情報コンテンツの充実を図る。		10～11月：WEBサイトの公開準備・コンテンツ作成・掲示板管理者募集 12月～3月：掲示板管理者の選任と掲示板投稿管理・市との意見交換 ：WEBサイトの公開・コンテンツ更新・サイト運営管理
3 鎌ヶ谷市レクリエーション協会	〈楽しい市民活動入門事業 副題：楽しく始めようコミュニティライフ〉 鎌ヶ谷市も元気な年配者が増えてはいますが、会社以外の地域社会で活動されている方は多くありません。例えば、余暇を利用して市内でボランティア活動をしたいと思っても、どうすればよいのか、模索している方が多いのではないかでしょうか。 私たちはこのようなチャンスを求めている方々に、レクリエーション活動を含めて、市内で活躍されている諸団体の生き生きとした市民活動を紹介しつつ、近隣他市の活動状況も見学し、学識経験者や実際の活動家から理論的課題や経験談を拝聴して、市民活動を始めるノウハウを提供できる講習会を開催します。そして、地域における市民活動（コミュニティライフ）が楽しく始められるようなきっかけを提供します。		1月：受講者募集 2月：第1回講習会（活動実践者による講演） 1月：第2回講習会（近隣他市の市民活動状況の見学）・パネル展示 2月：第3回講習会（学識経験者等による講演）

申請団体及び申請事業一覧（つづき）

19年度実施分

事業名称・概要		事業概要の追加：事務局にて作成（事業計画より抜粋）
団体名		
特定非営利活動法人 きらら	<p>〈障害児と健常児の交流事業〉</p> <p>子どもの成長には、小さい頃からのたくさんの体験・経験が必要と言われています。それは、障害を持った子供達も同じで、むしろ健常の子供達より多く、体験・経験する必要があります。これまできららの活動を通し、いろいろな場所に行く経験はしてきましたが、健常の子供たちとの交流は大変少なく孤立しています。今回の協働事業で障害を持った子供達と健常の子供達との交流会（馬に乗ったり、小動物に触れる）を開催し、一人でも多くのお友達を作り障害の理解が進む事を望んでいます。そして、次回の交流会へのきっかけになる様にしたいと考えております。</p>	<p>4～5月：下見・打ち合わせ</p> <p>6～7月：日時、場所の調整</p> <p>8～9月：日時、場所の決定・交流会開催のチラシの製作、配布</p> <p>10～12月：交流会の開催</p>
特定非営利活動法人 鎌ヶ谷たすけあいの会	<p>〈心のバリアフリー推進事業〉</p> <p>現在、鎌ヶ谷市では、新鎌ヶ谷駅周辺などハード面ではバリアフリー化が進んでいますが、高齢者や体の不自由な方に対する、健常者の認識も進めていく必要があります。</p> <p>私たちは、高齢者や体の不自由な方が、自由に出歩くことのできる社会を目指し、高齢者や体の不自由な方が困っているときに、ごく自然に声を掛け快くサポートできるよう、この協働事業として「心のバリアフリー推進体験事業」を開催し、市民が車いすの乗車や介助、アイマスクをつけた歩行や介助、高齢者疑似体験を通じて、そのサポートのあり方や方法を学習する機会を持ち、認識を新たにすることで心のバリアフリーの推進を図るもので。</p>	<p>6月：鉄道事業者への協力依頼・講師の選定、依頼</p> <p>9月：ポスター、パンフレットの配布</p> <p>10月：参加者の募集</p> <p>11月：「心のバリアフリー教室」事業の実施</p>